

# HONTAN

図書館ボランティア「本探」が  
何の図書館情報をお知らせします



第23号  
2011年11月10日

# HONTAN HAPPYPIECES

今回のテーマは...  
「ありえない!けどおもしろい!  
馬鹿な本」  
おもしろい笑、こまら馬鹿な本、集めました。

傘のおすすめ 東京ササエさん学会 726/I	花連のおすすめ 有川浩 913.6/A	きょうのおすすめ 奥田英郎 913.6/0
『石幾野家の謎: 「ササエさん」に隠された69の驚き』 「ササエさん」を全力で研究した一冊。	『キケン』 理系男子たちの、全力で「まっすぐ」で 馬鹿な青春。	『イン・ザ・プール』 ちょっと変な病気の患者と それより変な精神科医
空のおすすめ 万城目学 913.6/M	4月のおすすめ 早坂隆 361.42/S-2	あきのおすすめ 万城目学 913.6/M
『偉大なる、しゅらぼん』 特殊能力を持つ日出家と薬家の物語。 日出家跡取りのバカな殿っぴりは最強!	『世界の日本人ジョーク集』 日本人にまつわるジョークを紹介した本。 新書なのに新書じゃない!	『鴨川ホルモー』 謎のサークル「京都大学青毛会」。そこで繰 り広げられる謎な競技「ホルモー」とは!?
N川のおすすめ 前田司郎 913.6/M	カリンのおすすめ 森見登美彦 913.6/M	珠のおすすめ 浅田次郎 913.6/A
『かむの起源 お姉さんとコナン』 夢生物コナンと色んな起源を探そう。荒 唐無稽な話に辛酸なめ子のゆるい挿絵が◎	『夜は短し歩けよ乙女』 女はなかなか私の想いに気づかない。乙 女は奇妙な人物に会い、事件にまきこまれる。	『憑神』 ほんのりから怪いの神を呼んで寄せしま した彦四郎と、神様たちのコミカルな人情時代談
のずみのおすすめ 森見登美彦 913.6/M	とあかのおすすめ 穂村弘 914.6/H	Y田のおすすめ Zー 913.6/0
『太陽の塔』 若さゆえの馬鹿な思行と行為。 愛する馬鹿の活躍を楽しんで下さい。	『絶叫委員会』 日常にあふれるたかさんの言葉たちについて。 注:不意打ちで笑われることがあります。	『箱庭図書館』 素人の没になった作品をリメイク! 不思議なZーワールドへようこそ。

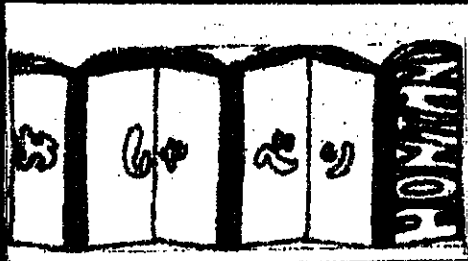
## 今月の1冊

野中ともし著  
『甲鳥と空の、  
プレスリー』  
913.6/N

幼なじみとともにエルヴィス・プレスリーの下手くそコピーバンドを組んでいたしんじると、その息子・耕太。Z人はある日、都内の貸しスタジオで目立つみみあげをもつおじさんに出会う。その人こそ、ロックの帝王・エルヴィス・プレスリー本人だった!彼は

音楽の間引きのために現れたというが...  
という、リアリティーから少し外れた、変なおじさんとその息子、息子の友達で大人気歌手の子供、そして帝王が作るロックバンドの話です。  
舞台は日本を飛び越えアメリカにあるプレスリーの聖地、メンフィスへ。彼らはい、たいどんな音楽を奏でるのでしょう? 短いようた"けど"、とってぞ克実した耕太少年たちの一夏の物語です。

<きゆう>



今回のテーマは「〇〇賞受賞作、読んだことある？」です。有名賞はもちろんあまり知られていない賞まで、花連・まよ・空・あき・傘があしゅバリします!

花: なんとも懐いてます。さきに思い浮かぶのはやはり、直木賞と芥川賞。直木賞受賞作は、これくらい読んでる気がする。三浦しをんの『まほろ駅前多田便利軒』(913.6/M)とか、森絵都の『風に舞いあがるビニールシート』(913.6/M)とか。両方とも印象的な本でした。

まよ: 私は「〇〇賞」と聞くと、思いつくのは本屋大賞ですね。淡かなえの『告白』(913.6/M)や伊坂幸太郎の『ゴールデンランタン』(913.6/M)は本屋大賞を受賞しました。

空: 私も、本屋大賞受賞作はよく読んでいます。有川浩が多くノミネートされていたからなんですけどね。本屋大賞は書店主のオスメだけあって面白いと思います。

まよ: あとは、『このミステリーがすごい!』大賞ですかね。海堂尊の『チムバヤスタの栄光』(913.6/F)も大賞を受賞されました。

あ: 今年の本屋大賞はノミネートされたことを知ってから読んだ本が何冊もありました。本屋大賞やこのミステリーがすごい!大賞は、直木賞とかよりもなんだか身近な賞のような気がします。でも実は、今まであんまり賞を参考にしないで読んだことはないですね。読んだあとに賞をとった本だと知ることが多かったです。

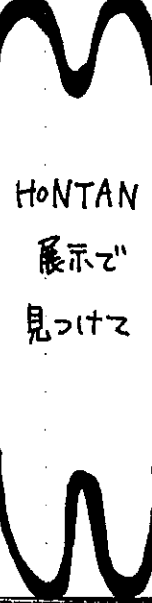
傘: 僕も今まであんまり「〇〇賞受賞作」というのを気にして本を読んだことがなかったです。しかし、調べてみると何冊か読んだことがあったことがわかりました。村上春樹す

の作品では有名どころで『世界の終わりとハードボイルドワンダーランド』(913.6/M-4)は谷崎潤一郎賞を、『おひさま鳥コロコロ』(913.6/M)は読売文学賞を受賞していました。

「〇〇賞」は日本中にたくさんあるので、探して面白そうと思った受賞作品を読むのも良いかもしれませんね。

本の紹介コンテスト in HOKUSEI ★★のお知らせ★★

学生のみなさんから、図書館の本を紹介するポスターを募集します。みんなに薦めたい!という本を紹介してください。応募作品は図書館内に掲示し、利用者等の投票により表彰者を決定します。大賞の方には図書カード4000円分! 応募締め切りは12月2日 16:30まで! くわしくは館内ポスターと要項をご覧ください。



**企画展示紹介** 今回は医療小説を取りあげました。医療小説って結構ドラマや映画化されているものもあります。海堂尊の作品は有名ですがそれ以外にもたくさん面白い作品があります。 <カリン>

**DVD展示紹介** 今月のDVD展示は「かっこイイ! カワイイ! 動物が登場するDVD」をテーマに展示しています。犬、猫、ペンギン、無機物などなど……魅力的な動物たちに、心癒されてみませんか? <珠>

**Pickup MAGAZINES** といえは、「可愛い雑貨というイメージを持つ人も多いと思いますが、実際にどんなブランドや商品があるのかは、意外と知られていないものです。可愛いだけでなく、シンプルで機能的な北欧のモノたち。紙面を通じてその世界をのぞいてみませんか。 <花連>

**月のDVD** たそれぞれのストーリーが、ある事件をきっかけに交差する…。 『Babel』(778.72/B) <Y田>

「雑貨カタログ」今回をもって休刊となったこの「雑貨カタログ」では、フィンランドを中心とした北欧雑貨の特集を組んでいます。北欧

「コトバが通じない」「ココロが通じない」世界における人間を描いたストーリー。モロコ、カリフォルニア、ティファナ、東京。遠く離れて交差するはるかながら

コラム **本の探力** 「title」

涼しく夜の長い秋は、燈火の下で読書するのに適している」というこの言葉が「読書の秋の由来」とされています。先人に倣い、秋の夜長に読書に励んでみてはいかがでしょうか。 『秋』志賀直哉、正岡容、里見弴 著 (908.3/H-4)

読書の秋の由来をご存知ですか? 中国・唐代の文人である韓愈が息子に宛てた手紙の中に、「燈火親しむべし」という一節があり、意識すると

今年も残すところあと24日。1年はあ、というまでですね。残りの24日の読書のおともに、機関紙をぜひ活用ください! もちろん来年以降もよろしくお願ひします笑 <とあか>

